



資料2 スマートオフィスの推進に向けた職員アンケート結果について

◆ 概要

「場所・時間を有効に活用でき、コミュニケーションが活発な職場環境」を目指すスマートオフィス推進の一環として全庁で導入したフリーアドレス用デスクやスマートフォン等について、効果や課題、職員の働き方に関する認識を把握するため、アンケートを実施し、その結果を取りまとめました。

調査は、フリーアドレスの環境が整った令和5年4月1日から約2カ月経過後の5月25日～6月16日に、フリーアドレス用デスクを導入した所属の所属長以下常勤職員（6月1日時点424人。回答数318人）を対象に行いました。調査結果の主な特徴は次のとおりです。

◆ 調査結果の主な特徴（詳細は別紙集計表を参照）

【効果】

○職場環境について全体的に満足度が上昇

- ・不必要な書類の整理や廃棄、所属内のコミュニケーション、空きスペースの有効活用、ペーパーレス化について。（質問6～8、12～16、22、52）
- ・空きスペースの有効活用は80%、ペーパーレス化は72%ができています。打ち合わせにおいて特に効果が実感されている。（質問16、52）

○公用スマホが配備された職員のほとんどが業務改善を実感

- ・公用スマホを使用しているが63%。スマホ導入後、電話の取次ぎ回数が減少したが60%。（質問35、37）

【課題】

○フリーアドレス運用の障害（運用できているが58%）

- ・適切に運用できていない理由は、デスクトップPCであるが22%、必要性が分からないが8%など。（質問19、20）

○集中ブースの低い使用率（集中ブースを使用しているが26%）

- ・使用しない理由は、業務内容が合わないが46%、利用しづらい雰囲気があるが29%など。（質問29～30）

◆ 今後の取り組み

- ・デスクトップPCからノートPCへ順次移行。
- ・文書キャビネットの縮小や個人ロッカーの配置場所の再検討等、執務室の有効活用を進める。
- ・利用頻度の低い集中ブースの設置場所やWEB優先集中ブースの周囲への音漏れ対策を検討。

